

樓 神 第五十参号 目 次

学頭・里見泰穩教授近影	学長望
序	理事長竹
法 勞 を 謝 す	林
即身成仏論の成立と展開	浅井
安達泰盛とその兄弟	川添
涅槃経にとって大乘とはなにか	河村
竺道生・妙法蓮花経疏における信	望月
法華玄義成立についての一考察	若杉
身延山晩年における日蓮聖人	上田
—— 弘安三年九月から十二月まで ——		
最蓮房あて御書の一考察	中條
—— 立正観抄・同送状 ——		
御本尊論研究ノート（前篇）	桑名
日蓮聖人の臨終観	奥野
		本貫
		洋正
		(129) (109)
		中條
		暁秀
		(91)
		上田
		本昌
		(71)
		若杉
		見龍
		(61)
		望月
		海淑
		(43)
		河村
		孝照
		(31)
		川添
		昭二
		(19)
		浅井
		円道
		(1)
		林
		是幹
		康
		竹
		下
		日
		日
		滋

身延山と藤村紫朗県令 (本県第五代知事) 林 是 幹 (145)

南部 實 長 考 中 里 悠 光 (153)

——實長の姓について——

身延山諸堂建立考 林 是 晋 (169)

小乗の中の大乗 高 橋 堯 昭 (183)

現代文化への反省 桐 谷 四 郎 (199)

修道誓願と靈性 町 田 是 正 (205)

——西独・聖オッティリエン大修道院の翳りにて——

〈資料〉身延山歴代略譜 (第二回) 里 見 泰 穩 (233)

中論の論理の一考察 (五藍品第四の第八偈・第九偈についての管見) 村 野 宣 忠 (19)

法要式英訳試作 大 森 孝 (35)

言 語 小 論 ④ 望 月 海 英 (253)

里見泰穩先生略年譜・執筆目録 望 月 海 英 (249)

〈書評〉『法華経における信の研究序説』 望 月 海 英 (251)

学園叢報・学園だより 望 月 海 英 (253)